

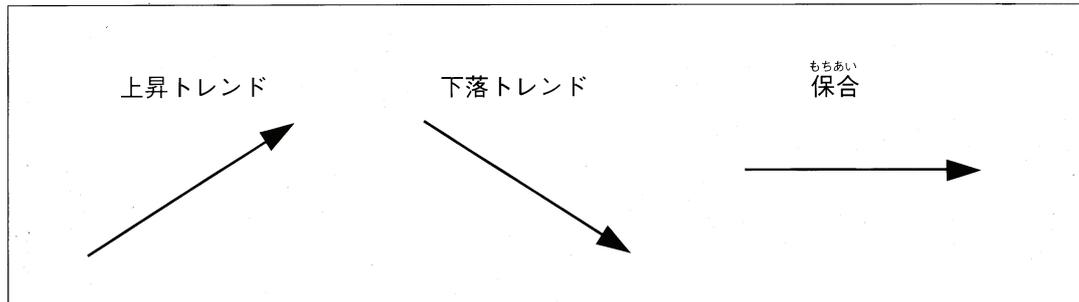
1  
Lesson

## テクニカル分析のアプローチ法と分類

テクニカル分析を行う最終目的は、株式、債券、外国為替、商品等の価格変動それ自体の中に一定の法則性を発見し、それに基づいて将来の価格を予測することです。テクニカル分析には、次の6種類の側面からアプローチする方法があります。どの側面からアプローチするかで実にさまざまなテクニカル分析手法が存在しています。

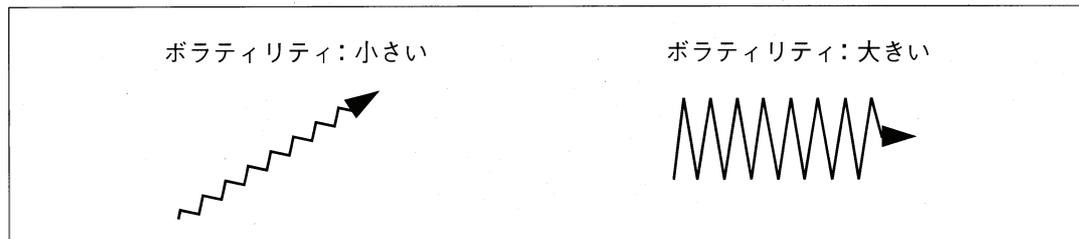
### (1) トレンド分析系のテクニカル分析

トレンドとは、価格が傾向として、上昇し続けるとか、下落し続けるとか一方向に変化する状態を意味する言葉です。



### (2) ボラティリティ分析系のテクニカル分析

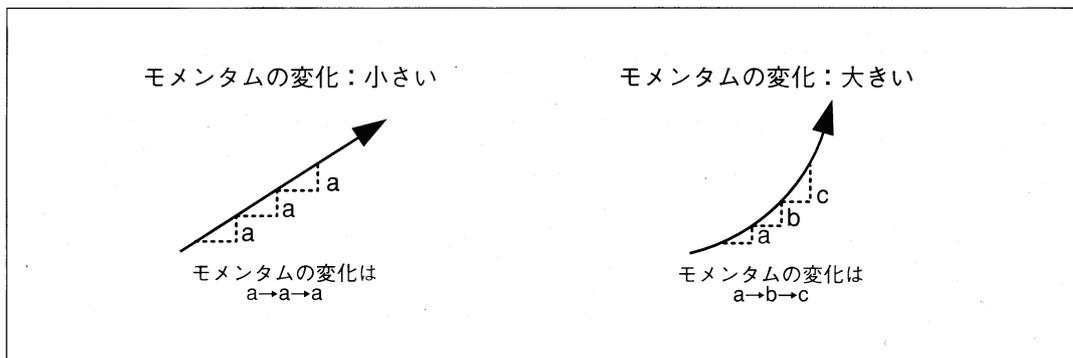
ボラティリティとは、昨日から今日、今日から明日という具合に、日毎の価格変化の激しさの度合を数値化したものです。価格の乱高下が激しいほど、ボラティリティは高くなります。価格変化の方向（トレンド）とは必ずしも関係ありません。



Lesson1 テクニカル分析のアプローチ手法と分類

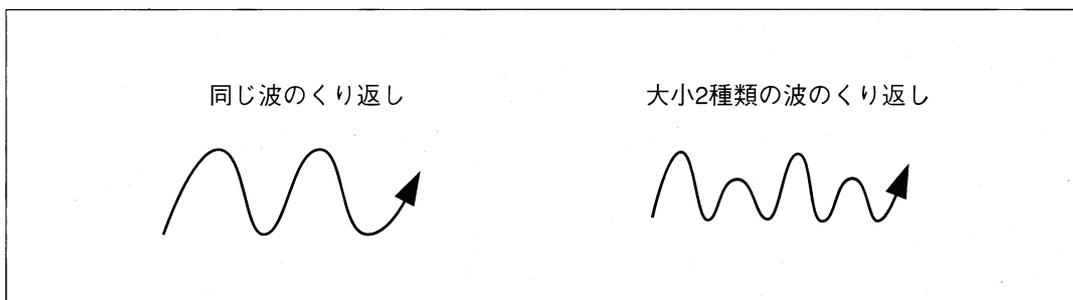
### (3) モメンタム分析系のテクニカル分析

モメンタムとは、一定期間における価格変化のスピードを数値化したものです。



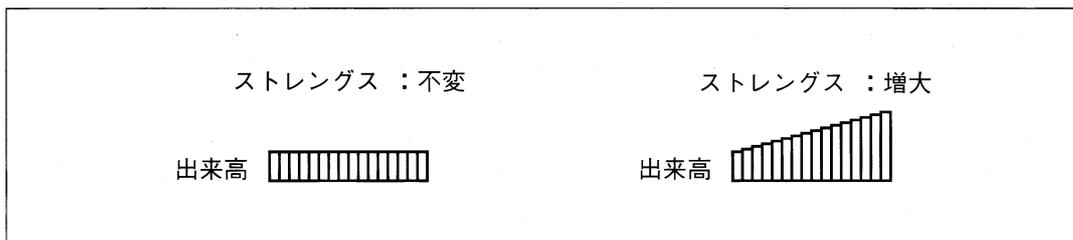
### (4) サイクル分析系のテクニカル分析

価格変化には、往々にしてサイクル・パターン（独特の周期）が観察されます。



### (5) ストレングス分析系のテクニカル分析

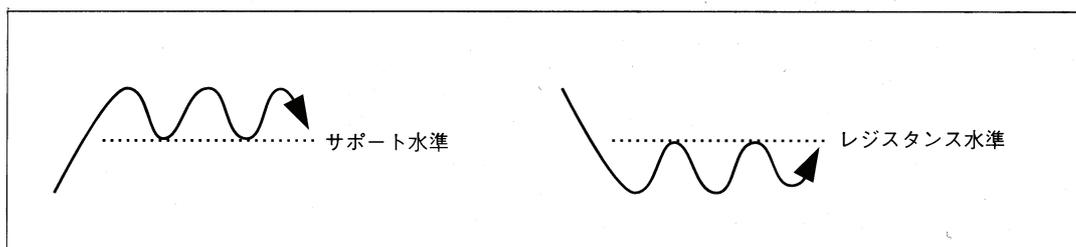
マーケットにおける買い圧力、売り圧力の強さ（ストレングス）は、一般に取引ボリューム（出来高）で計測されます。取引ボリュームが大きいほど、ストレングスも強いということであり、価格変化の方向に影響力をもつことになります。



## TECHNICAL NO.1

### (6) サポート／レジスタンス分析系のテクニカル分析

価格変化は、往々にして一定の水準（あるいは価格帯）で上昇・下落が止まり、これをくり返します。下落を止める水準をサポート（支持）水準、上昇を止める水準をレジスタンス（抵抗）水準と呼びます。基本的には需給関係の反映と解釈されるものです。



本コースでは、以上6種類の分析系に対応する基本的かつ代表的な各種テクニカル分析を順次、体系的に学習していきます。

分析系の種類	対応するテクニカル分析の種類
トレンド分析系テクニカル分析	パターン ローソク足 移動平均線
ボラティリティ分析系テクニカル分析	チャイキンズ・ボラティリティ
モメンタム分析系テクニカル分析	ROC オシレーター RSI
ストレンジス分析系テクニカル分析	逆ウォッチ曲線 OBV

なお、サイクル分析系テクニカル分析とサポート／レジスタンス分析系テクニカル分析に対応するテクニカル分析については、特殊性・専門性の高いものが多いため、本コースでは明示的には取り上げません。ただし、上表に示された各種テクニカル分析を学習していく過程で、必然的に、サイクル分析、サポート／レジスタンス分析も行うことになります。

## Lesson 1

### 練習問題

- (1) テクニカル分析には6種類の分析系がありますが、それを列挙して下さい。
- (2) 次の文章が正しいければ○印を、誤っていれば×印を記して下さい。
- ①トレンドには、上昇トレンドと下落トレンドの2種類がある。
  - ②相場が上昇している場合とある水準で往復運動をしている場合では、ボラティリティは前者の方が大きい。
  - ③モメンタムとは、相場の方向を数値化するものである。
  - ④一般に取引ボリュームが増大すると価格変化の可能性が高まる。
  - ⑤下落を止める水準をレジスタンス水準、上昇を止める水準をサポート水準と呼ぶ。

2  
Lesson

## 4本値と最高値・最安値

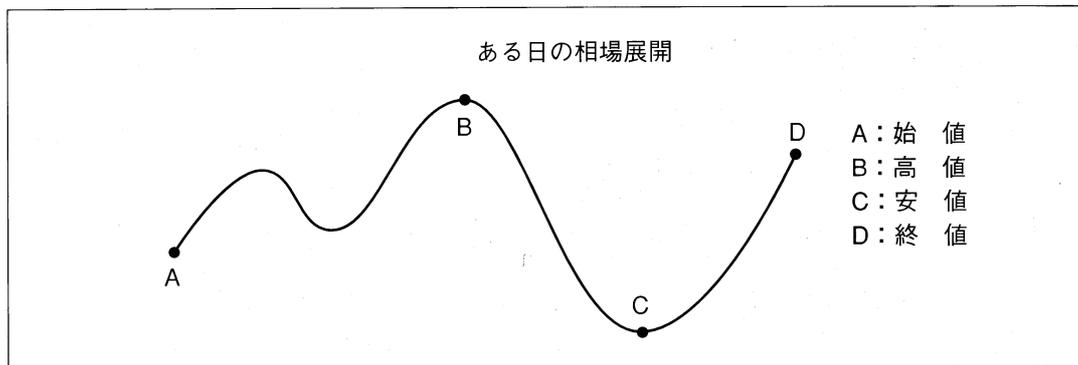
テクニカル分析を行う場合、最も重要なのは価格データです。基本的な価格データは、日々の始値、終値、高値、安値のいわゆる4本値です。

始 値：その日に初めて付いた価格。寄りつき、オープニング・プライスとも呼ばれる。

終 値：その日の最終価格。引値、クロージング・プライスとも呼ばれる。

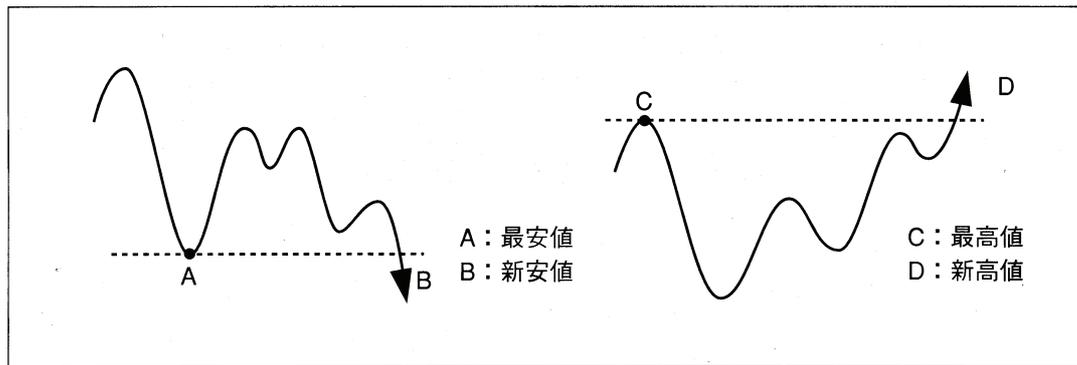
高 値：その日の最も高い価格。ハイとも呼ばれる。

安 値：その日の最も安い価格。ローとも呼ばれる。



また、相場展開を1ヶ月間とか3ヶ月間とか、一定期間で観察した場合、その期間中で最も高い価格を最高値、最も安い価格を最安値と呼びます。往々にして最高値はレジスタンス水準、最安値は往々にしてサポート水準として心理的作用をマーケットに及ぼします。サポートとして機能している最安値水準を切って価格が下落すると新安値を形成し、レジスタンスとして機能している最高値水準を切って価格が上昇すると新高値を形成することになります。

Lesson2 4本値と最高値・最安値



Lesson 2

練習問題

- (1) 4本値について説明して下さい。
- (2) 次の文章が正しいければ○印を、誤まっていれば×印を記して下さい。
- ①新高値を形成すると、これが最高値となる。
  - ②相場が一本調子で上昇した日の安値は始値と同じである。
  - ③高値が形成されない日もある。
  - ④新安値を形成すると、これがレジスタンスとなる可能性が高い。
  - ⑤過去1年間で、最も高い価格を最高値、最も安い価格を最安値と言う。